

# 市議会報告

2013年 中村亨「もっす」通信:NO. 5号  
連絡先:020-0853盛岡市下飯岡3-22-1  
TEL019-658-1111FAX019-658-0505  
メールアドレス tohru.nk@gmail.com

## 発行2013年1月:「市民連合」(盛岡市議会議員)中村とおる議会活動報告



「年頭のご挨拶」巳年の2013年、皆様方にとって良き年でありますように、そして東日本大震災から二年目の冬を迎えている被災地や被災された方々が、一日も早い復興と安心して暮らせる生活環境が整うことを心から祈っております。

本年も市議会報告「もっす」通信をご愛読いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

### 12月定例会における一般質問登壇状況



この議会活動報告の作成に関する経費は、政務調査費を充当しております。

#### 私の12月定例会における一般質問趣旨

盛岡市の災害廃棄物処理の受け入れ状況と処理を終える時期について。盛岡市の学校教育面で、校舎修繕の対応の遅れに対する財源措置への提言、コスト面を重んじるあまり自校単独方式給食を共同調理場を建設し、転換していく方針案に対して。自治会で設置が難しい農村振興地域での通学路の防犯灯設置に関する要望と設置に向けての提言

12月定例会は昨年の12月4日から12月21日までの18日間の会期で行われました。

主な議案は、平成24年度盛岡市一般会計補正予算(第5号)をはじめ後期高齢者医療費特別会計補正予算(第1号)や中央卸売市場費の特別会計補正予算(第1号)、上水道・下水道事業会計補正予算(第2号)に関する予算関係議案。

盛岡市防災会議条例の一部改正、盛岡市における常勤の特別職の給与に関する条例の一部改正する条例、盛岡市復興産業集積区域における固定資産税の課税の免除に関する条例や地域主権一括法関係条例の40議案、追加提出された財産の取得(土淵小・中一貫教育導入施設整備事業に係る土地取得)や鉤屋町歴史的建造物等修築工事その2に係る契約締結議案を含め、すべての議案が可決されました。

# 中村とおる「一般質問」要旨



2013年1月1日自宅近くから撮影した岩手山。



2012年10月28日行われた市民植樹祭に参加してまいりました。



今回の育樹祭はプロ野球の森づくりのためバットの材料となるアオダモ植樹

## 災害廃棄物受け入れ後の状況に関して

**質問** 平成23年度の災害廃棄物処理状況を踏まえ、本年の5月に、岩手県災害廃棄物処理詳細計画」が改訂され、これによると当市の昨年度おける盛岡市クリーンセンターでの処分量は777.1tとなっているが、本年度末までの処理量の見込みはどうか。

**答弁** 平成23年度11月から平成25年3月末まで合計で約7,200t程度になると見込んでおります。

**質問** 処理受け入れ量の一日当たり20tの基本ペースで盛岡へ運ばれて来ているのか。

**答弁** 受け入れ当初は搬入量が少なかったものの、その後被災地の破碎選別施設の本格稼働に伴い盛岡市への搬入量が概ね一日当たり処理可能な20tペースで運び込まれている。

## 盛岡市の割当量14,000t処理終了時期は

**質問** 岩手県災害廃棄物処理詳細計画の改訂版のスケジュールを見ると、盛岡の割当量14,000tの処理が平成26年3月より早く終わるように思えるがどうか。また、今後受け入れ量を増やし、早期の処理終了の考えは。

**答弁** これまでの搬入状況から推計しますと、計画の受け入れ完了時期であります平成26年3月末の見込みとなっております。次に受け入れ量についてはクリーンセンターに搬入される市内のごみの量は季節変動があるため年間を通して増量することは困難であるものの、搬入量が減少する冬季にはある程度の受け入れ量の増量に可能性はあるものと考えます。今後計画の見直し等により受け入れ増の要請があった場合は市民の皆様にご理解を頂いたうえで対応してまいります。

## 小中学校校舎等の修繕予算の措置への提言

**質問** 修繕予算措置を講じる策として、市の歳入項目の諸収入・雑入項目の磁生物等回収資源収入が昨年度9,170万円余りあったが、これを基金が修繕費用の財源としてはどうか。そうすることにより市民の分別収集の取り組みが子供たちの教育環境整備に役立っていると周知することによりモチベーションも高まるのでは。

**答弁** 修繕に対応する財源につきましては、公共施設等整備基金」の活用を図りながら対応してまいりたいと思っております。また、今後も引き続き、市民の皆様がアルミ缶や古紙類などの資源物を分別した努力の成果として、回収資源収入がごみ減量・資源再利用施策の財源として充当されていることを周知するとともに環境学習教材などへの使途についても検討してまいります。

## 小中学校学校給食基本方針(案)を質す

**質問**：盛岡地域で現在も単独自校方式の給食を行っていることは、子供たちの成長に対しても素晴らしい給食方式で、盛岡として誇りに思うのが市長の見解は。

**市長答弁**：学校給食は、児童生徒にとりまして、適切な栄養の摂取による健康保持増進や食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことには大きな役割を果しているものであると存じております。なお、単独自校方式には、身近な場所で給食が作られることから、子供たちが「食」について考える機会を得やすいなどの特徴があるものと存じております。

**質問**：市長は昨年の市長選の際「盛岡元気戦略2011」の政策の中には学校給食のあり方については、一言も触れていませんが、今回の「盛岡市立小中学校学校給食基本方針(案)」について市長の政策と合致しているのか伺いたい。

**市長答弁**：単独調理場の多くが老朽化し、改修が必要であることから、給食の実施内容、改修に要する時間及び経費などを総合的に検討したうえで、この基本方針案が作られたものと存じております。この方針に基づいて、より衛生管理体制の整った共同調理場方式へ移行し、安全安心な給食を提供することは、将来を担う子供たちの健全育成に繋がることから私の子育て支援の施策にも合致すると存じております。



市長や楽天のコーチ、少年野球クラブの子供達も参加して、アオダモ育樹とプロ野球の森の木柱建てが和やかに行われた



2012年11月に訪れた山口県山口市の湯田駅前には大きな白狐の像があり町並みの商店前には店を教えるこんな像が。



いらっしゃい魚屋で一す。



おいでませ酒屋で一す。

## 教育分野をコスト面で進めるのはどうか？

**質問**：小中学校学校給食基本方針はコスト面ではなく、方針の基本理念は「子どもたちの心身の調和のとれた発達を支える最善の学校給食の体制や施設のあり方」を率直に考えるべきではないか。

**教育長答弁**：基本理念ではありますが、安全安心な給食が子供たちに安定的に提供され、健康の保持増進が図られることが最も重要であると認識しております。しかし、現在、多くの単独調理場や都南学校給食センターが老朽化しており、早急に施設の改善を図って行く必要がありますが、全ての施設を改善するには、相当の時間と経費を要することとなります。このような状況や給食の実施内容、衛生管理体制、施設・設備、調理業務の運営のあり方などを総合的に検討したうえで、今回の基本方針(案)を作成したものでございます。意見とかく地方自治体は、行財政改革の名の下で、色々な分野の合理化を進めて来ているが、少子化時代に入り、次世代を担う子供たちにとって、盛岡に生まれて良かったと思われるような給食の基本方針の策定を望む。

質問：3省（文部科学・国土交通・警察庁）の調査結果で当市の状況と危険個所に対する具体的対策と関係機関との連携や財政面を含めどう講じようとしているのか。

市長答弁：学校、警察、道路管理者による合同点検の結果を踏まえ、児童への通学指導、交通規制のあり方、歩道の整備等について、それぞれの管理者が役割を分担して対策を講じることとしており、情報の共有を図り、緊急性等も見極めながら、相互に連携し、国の社会資本整備総合交付金等も活用しながら取り組んでまいりたい。

質問：調査に通学路の防犯灯の有無は含まれていないと思うがどうか。以前、私が取り上げた、市街化調整区域（農業振興地域）である飯岡小学校・羽場小学校・飯岡中学校の通学路沿いには、住宅が張り付いておらず、農地や水路沿いの通学路区間もあり、自治会での防犯灯は設置しづらく、関係部局に検討をお願いしていたがどうなったのか。自治会での設置や管理が難しい通学路の照明灯の設置に関し、風力や太陽光の自然再生エネルギーを利用して製造している企業に広く呼びかけ、試験的設置や企業宣伝も含め市が主体的に要請し設置できないか。

答弁：調査実施要領には防犯灯の有無は明記されておりませんが、学校からは夜になると危険であるなど4カ所について報告されております。自治会での防犯灯が設置しづらい通学路につきましては現在、建設部、市民部、教育委員会の関係部署が集まり、具体的な設置方法や経費について検討を行っているところであります。設置への提言は電力の省エネルギー化や維持管理コスト削減からも有効な方法と考えられますことから、企業の協賛による整備手法についても他都市の事例等も参考にしながら研究してまいりたいと存じます。

## 小学校通学路の危険個所等に関して



### 2013年1月6日盛岡市消防出初式の様子

一段と寒さ厳しい中、消防団員900名、車両70台、広域消防組合消防本部署員100名車両5台が参集して、盛岡城跡公園と大通り一丁目路上で分列行進がおこなわれました。



### 大通りの分列行進の様子



### 色んな種類の消防自動車

## 「まちなか・おでかけパス」に関して

質問：本格実施の際の改善点、実施後の現状、今後福祉的考えを取り入れ対象区間を全域とする考えは。

答弁：乗り越し対応の統一等の運営上改善を図り、試行制度で本格実施してまいります。利用状況については、本格実施の6月1日から1月30日までの販売実績は3970枚で、前年度比較7%増であります。福祉的な考え方、拡充については過去の「寿バス」の課題や平成17年度に実施した「盛岡敬老割引バス運行試行事業」での利用者が少なかつたことも踏まえ、今後、福祉部門と相談してまいりたい。